



やちよ 農業委員会だより



第123号

発行人 八千代町農業委員会会長 小竹 節 / 編集 農業委員会だより編集委員会

農業委員活動を考える



農業委員 馬場 勇

出身行政区：水口

担当地区：水口

私が農業委員になり感じた事は、現在の農業の実態は、政府の米の減反政策や米価の下落等があり、かたや遊休農地等の調査をして耕作させようとするところに矛盾を感じてなりません。

米の問題をひとつの例で考えてみると高齢化やTPP等の様々な問題要素が多々ありますが、もっと米価を安定させ魅力ある農業にすることが出来れば、後継者も育ち遊休農地等も無くなるのではないかと思います。

私も農業委員として、魅力ある農業の一助になれるよう努力していきたいと思えます。

◎「TPPとは」…日本・米国を中心とした環太平洋地域による経済連携協定で、日本は2013年3月に交渉参加を正式に表明。日本製品の輸出額増大が期待されますが、関税撤廃により外国から米、肉等の多くの安い農作物が流入するなど、食の安全性や日本の農業に大きなダメージを与えていると言われています。



農業委員 山中 満雄

出身行政区：大里

担当地区：久下田、高崎、大渡戸、大里、小屋

わが国において、TPP参加で最も影響を受けるのは農業であり、国民の食生活であると言われています。

農家、農村はこれまで以上に危機的状況に追い込まれ、高齢化が進み、遊休農地も年々増えております。大規模化、効率化の裏側に自然環境の荒廃が生じてきています。強い農業、攻めの農業とはどういうことなのだろうか。地域には多くの兼業農家の方もいて、自然環境も含めてつながってこそ成り立つように思えます。問題は稲作や野菜、果樹栽培等の持続ではなく、地域の持続にあります。

八千代町の農地が生み出す旬の美味しい農産物を供給するため、優良農地を守り、地域農業を活性化し持続発展できるよう、農家の皆様や関係機関等のご指導を賜りながら、微力ながら取り組んでいきたいと思えます。

国が支える。安心が大きくなる

担い手積立年金 【愛称】

農業者年金

☆終身年金で安心の「80歳までの保証」付き！

☆支払った保険料は、社会保険料「全額控除」でかしこく節税！

【申し込み・問い合わせ先】農業委員会事務局 内線 2110

農地パトロール（農地利用状況調査）・利用意向調査にご協力ください！

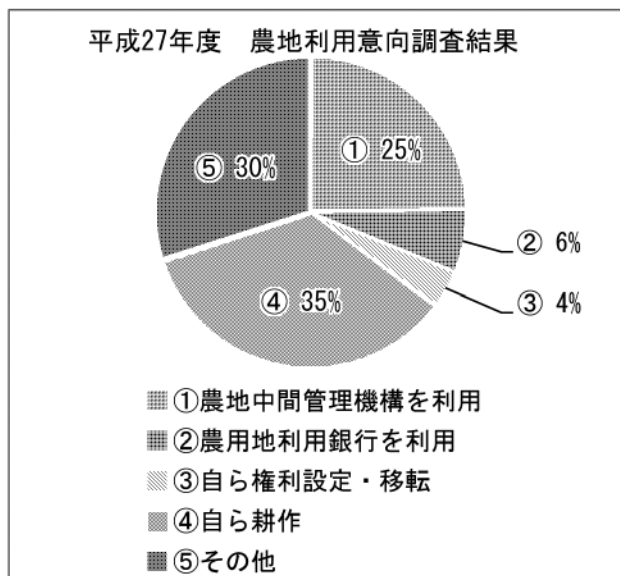
農地パトロール（農地利用状況調査）は、農地法に基づき、地域の農地利用の確認、遊休農地の実態把握と発生防止・解消、違反転用発生防止・早期発見について重点的に取り組むことを目的に毎年実施しています。昨年度は、八千代町全体で693筆、53haの遊休農地が確認され、中でも安静地区に348筆、27haと最も多く遊休農地が確認されました。

農地利用意向調査では、農地パトロールの結果、「遊休農地」とであると農業委員会が判断した農地の所有者等に、対象農地の今後の利用方法を確認する取り組みです。昨年度は、遊休農地と判断された中で畑のみ調査を実施し、248筆の農地所有者等165名の方を対象に調査を実施しました。その結果、103筆の農地所有者等75名の方から回答があり、今後の利用意向として、「自ら耕作」が35%と最も多い結果になりました。

今年度は、意向調査についても「田も含めた全ての農地」を対象に調査を実施する予定ですのでご理解と遊休農地を解消するために一層のご協力をよろしくお願いします。

平成27年度 農地パトロール
（農地利用状況調査）結果

農地所在地区	種別	筆数	面積 (ha)
西豊田地区	田	84	6
	畑	53	4
	計	137	10
安静地区	田	237	21
	畑	111	6
	計	348	27
中結城地区	田	26	2
	畑	37	2
	計	63	4
下結城地区	田	67	7
	畑	32	2
	計	99	9
川西地区	田	21	1
	畑	25	2
	計	46	3
八千代町全体	田	435	37
	畑	258	16
	計	693	53



農地の適正管理についてのお願い

農地の遊休化は、雑草の繁茂による病害虫の発生やごみの不法投棄、火災発生等を誘発する原因になり、周辺の耕作者や住民に対して迷惑をかけています。

農地の遊休化を解消するためにも、除草や耕作再開等の適正な管理にご協力ください。



農地をきれいにしよう！